

東京病院ニュース

第39号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院

〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168

ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

新年度に寄せて

国立病院機構東京病院院長 大田 健

昨年4月、独立行政法人国立病院機構東京病院院長に着任して1年が経過しました。桜の花から始まって、カルガモのヒナの成長、生い茂る夏草、秋の紅葉、ひっそりと咲く寒椿、古木に咲く見たこともないスケールの梅、きれいなピンク色に咲く桃、そして今は真っ白いこぶしの花が満開です。恵まれた自然と設備の整った立派な建物、すばらしいスタッフの揃った当院は、もっと社会に認知され、広く利用されなくては”もったいない”と強く感じております。当院は、昨年1月4日に旧国立療養所清瀬病院と旧国立東京療養所の統合50周年を迎えましたが、当院にはこれまでの歴史的背景を超えた役割が求められていると認識しております。平成25年4月からの新年度にあたり、統括診療部長に国立国際医療研究センターから小林信之先生を迎え新しい運営体制が発足致しました。また新たな人事により、診療と研究の両面において一層の充実を図りました。結核診療における我が国の筆頭病院という使命、神経難病やAIDSへの政策医療を担う使命を果たすとともに、地域の中核病院としての役割をさらに重視したいと思います。昨年度から診療科は4つのセンターに群分けしました。呼吸器センター、喘息・アレルギーセンター、消化器センター、総合診療センターです。呼吸器センターは伝統を生かして、結核とともに肺癌、COPD、肺感染症、間質性肺炎や咯血などの診療について、内科と外科が連携して充実した診療を行っております。喘息・アレルギーセンターは内科を中心にアレルギー疾患に関与する診療科が横断的に協力する体制の充実と喘息発作に対する救急医療の充実を図りたいと思います。消化器センターでは、内科と外科の協力により、内視鏡による検査や治療、手術や薬物治療など充実した内容の診療が行われており、さらに地域のニーズに合わせて拡大できればと考えています。総合診療センターでは、リハビリテーション科の病棟を回復期リハビリテーションという体制にしました。循環器科は新しい医長を迎え診療体制が整いました。整形外科は非常勤医を増員し、より多くの患者さんの診療を可能にしました。眼科は、白内障の手術に優れ、その他の眼疾患も他施設と連携しながら良好な成績を上げています。昨年度から常勤医を迎えた耳鼻咽喉科、泌尿器科も着実に診療実績をあげております。昨年秋に開設した呼吸器と消化器のドックは、まだ十分に利用されていませんが、しっかりとした内容で短時間に行うことを特徴としております。その他、今年度は秋から新しい電子カルテシステムが導入され、一層円滑な診療体制が確立できるものと期待しています。主な課題としては、1年後のDPC導入に備えた外来化学療法体制の確立、人員確保、勤務体制の改善と充実、経営状態の改善などが挙げられます。自分や家族が受診したい病院、患者さんにとって快適で充実した医療を受けられる病院を目標に、職員全員にとって忙しくても気持ちよく楽しく仕事のできる環境を作り上げ、さらに当院が発展するように全力で職責を果たす所存です。どうぞよろしくご支援のほど、お願い申し上げます。



平成25年早春

第2回東京病院祭報告

2月2日に病院祭が行われました。



荒木由美子・湯原昌幸夫妻と病院祭スタッフ

東京病院の病院祭は今年で2回目です。昨年1月には、東京病院が創立50周年を迎えたことを記念した初めての病院祭が行われ、来訪者が2000人を超える大盛況となりました。特に、ポップコーンや綿菓子の無料配布、およびスタンプラリーなど、家族向け・子供向け企画が多かったため、子供連れの家族が多かったのが特徴でした。2回目の今年は大きく趣向を変え、「優しい医療と介護」のキャッチフレーズで、介護用品展示や、荒木由美子さん・湯原昌幸さんご夫婦の介護体験のお話を交えたトークとライブなど、主にこの地域のご高齢の方々対象とした企画を行いました。このため、お子さん連れの若い方々にかわり、非常にたくさんのご高齢の方々に来ていただき、今回も約1000人の来訪者で賑わいました。来年も新たな企画で続ける予定ですので、次回も是非とも病院祭にご来場をお願いいたします。

実行委員長 庄司

各担当者から一言 & フォトギャラリー

今年のアトラクションは昨年の有志による地域密着型の構成から一変、荒木由美子&湯原昌幸夫妻によるライブ&トークショーを行いました。準備していた100席の椅子は開演前には既に埋まり、急遽追加する程の盛況でありました。荒木由美子さんの介護体験の講演では、壮絶な介護の実態が話され、湯原昌幸さんのライブではGSメロデーが演奏され、来場された方々は皆さん笑顔で帰られました。^^

アトラクション担当 近野



平成25年2月2日土曜日、心配された天気も良くなり、多くの方々が第2回東京病院病院祭にお見えになりました。

午前11時から始まった、大田健院長による講演も非常に多くの方々が参加し喘息の話に聞き入っていました。講演内容は、喘息の概念から始まり、最近の疫学的なこと、治療など多岐にわたる内容で、非常にわかりやすい内容であり、聴衆の方々も満足していただいた様子でした。

講演担当 大島

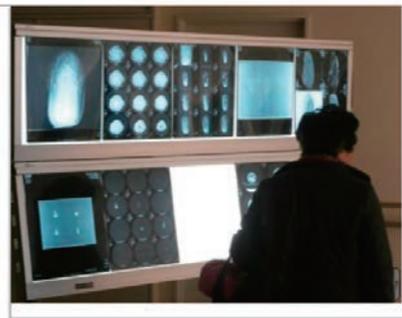


職場紹介は、各職場の特徴が病院にいらした方々にわかるようにと作成しました。今回は立体的なものもあり、皆、創意工夫されていました。患者さん方がよくご覧になっており、作成した私たちもうれしく思います。

職場紹介ポスター担当 大橋

午前の部・午後の部の二部構成で見学ツアーを企画しました。見学者は150名程の人数を放射線科職員8名で対応し、子供から年配の方々まで放射線検査のことや機器の説明などを熱心に聞き入っていました。「放射線について普段から疑問に思っていたことを聞いて良かった」との声をいただきました。

放射線装置見学ツアー担当 谷崎



出店を当院の食堂と売店にお願いし、北海道物産展や焼き立てパン等の提供によりイベントを彩っていただきました。病院祭の主役はステージや健康相談なども知れませんが、来てくださった皆様にお食事やお土産で楽しんで頂けたのではないかと思います。

出店担当 野口

健康相談・お薬相談・栄養相談には多くの方が訪れ、閉会間際まで相談を受ける方もあり好評でした。また、検診の骨密度測定・血管年齢測定は昨年の経験もあり、測定待ち時間を大幅になくし、それぞれ300余名、280余名の方が訪れ、こちらも大変好評でした。

健康相談・検診担当 岩崎



介護用品や福祉機器の展示を行いました。皆様に、実際に見て触れて頂き、「自分の家族にも使いやすそう」などの声を頂きました。介護用品を上手に使用することで、今後も皆様の生活がしやすくなればと思っております。

介護用品展示担当 大塚

病院祭までは広報を、病院祭当日は総合案内、アンケートを行いました。来場された方の中には、病院祭を機に初めて東京病院を訪れた方もいらっしゃり、また、アンケートでは多くの方に「楽しめた」とご感想を頂きました。うれしい限りです。ご来場頂きありがとうございました。

広報担当 古越



連携医のご紹介

杉本医院

院長 杉本正邦 先生

標榜科：一般内科、リウマチ科、アレルギー科



院長からの一言：病気の診断・治療にとどまらず、予防医学に力を入れております。全人的な立場から総合的・包括的な医療を重視し、介護・福祉関係とも連携をとり、皆様の健康管理のお手伝いを致します。

メタボリックシンドローム・高血圧・脂質異常症・糖尿病・痛風などの生活習慣病に対しましては、常に薬剤師・糖尿病療養指導士・管理栄養士が対応できる態勢をとっております。リウマチ性疾患・変形性関節症などの疼痛管理に対しましても、漢方薬・鍼灸・マッサージ等も取り入れ対応しております。すべて健康保険診療で行っております。

通所介護施設も併設しております。6名のケアマネージャーが介護保険の相談もお受けいたします。

その他内科疾患全般に対しましても何なりとご相談ください。各医療機関とも連携をとり、最善の医療を提供致します。

診療受付	月	火	水	木	金	土	日
午前 8:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後 3:00~6:00	○	○	×	○	○	×	×

<休診> 水・土曜午後、日祝

診療予約 無

所在地：〒204-0021 東京都清瀬市元町2-7-1

連絡先：TEL 042-492-1199

ホームページ<http://www.myclinic.ne.jp/sugil199/pc/index.html>



東京病院地域医療連携室だより



平成25年1月22日に第7回地域医療連携交流会を開催しました。大田院長の開会挨拶の後、田村厚久呼吸器内科診療部長の座長で益田公彦呼吸器内科医長が「咯血について」の講演を行いました。次に呼吸器外科（深見武史医長）とアレルギー科（庄司俊輔副院長）、眼科（山田秀之医長）が診療科紹介を行いました。交流会では自己紹介をしながら、親睦を深めることができました。4月からは新しいスタッフもきますのでまたの機会にご紹介させていただきます。



結核研修セミナーが開催されました

臨床研究部長 蛇澤 晶

東京都医師会の共催で平成 25 年 2 月 9 日に、学士会館を会場として第 10 回結核研修セミナーを開催しました。この会は、感染症のなかでいまだに多くを占める結核症の知見を、職種や所属施設を限定せずに、医療関係者の皆さんに知っていただくことを目的として毎年開かれています。今回は、i) 当院における結核診療の現状を大田 健 院長から、ii) 結核症の疫学および行政対策を都福祉保健局健康安全部 吉田 道彦先生、iii) X 線像や結核菌検査を中心とした結核診断の実際を当院 赤司 俊介医師、iv) 結核治療のポイントを日下 圭医師から講演をしていただいた後、iv) 田村厚久呼吸器部長から肺癌と肺結核症との合併例、気管支結核症など診断が難しい症例への対処法を、v) 複十字病院の佐々木 結花先生から結核症診断の遅れた症例の提示およびその原因についての考察を話していただきました。演題の内容によって各講演の時間に違いがあり、メリハリの効いた会となりました。

参加者は院外の方が 52 名、当院職員が 36 名の合計 88 名でした。参加者からいただいたアンケートでは、好意的なご意見がほとんどを占めていましたが、お叱りやご意見もいただきましたので、これらを参考に、来年も継続してこの会を開催しようと考えています。今回同様、皆さんのご協力をお願いします。



新任のご挨拶



IT推進部長 渡邊宏樹

今年1月よりIT推進部長として着任いたしました渡邊と申します。今年の桜の開花は例年になく早まるようですが、自然にあふれ、また歴史の重みにも満ちたこの東京病院の一員として働けますことに、大いに喜びを感じております。

放射線科医としてIVRや放射線治療などのがんの診断・治療に従事したのち、東京大学病院の企画情報運営部という部署で10年間ほど病院情報システムを担当しつつ、病院全体の企画運営にも携わって参りました。フィルムレスPACSの導入からペーパーレス電子カルテの推進、DPC制度の導入、あるいは大学の独立行政法人化やそれにもなう運営費交付金の逡減やマネジメント改革への対応など、この10年で非常に貴重な経験を積むことができました。

こうした経験を踏まえ、今年10月を目途とする電子カルテシステムの前倒し更新を担当させていただきます。現行システムによる制約をなくし、かつイマドキの標準的な電子カルテシステムを導入するべく鋭意作業を進めております。システム切り替え時には多少なりとも混乱はあろうかと思いますが、東京病院のさらなる前進に向けてみなさまのご協力をいただけますよう、よろしく申し上げます。

退職者紹介

『退職のご挨拶』

呼吸器内科医長 長山直弘

33年間勤務させて頂いた東京病院を平成24年12月1日付けで退職しました。先日旧正門から旧正面玄関までの並木道を歩きましたら、赴任当時の元気に満ちた自分の気持ちや感覚が自然に思い出されました。当時は新築であった官舎も今では古くなって住んでいる人はごく少数です。東京病院の、この空間にお世話になったなあ、と思いながら歩きました。暖かく迎えて下さった先輩の先生方、職員の方々が思い出され、感謝の気持ちに溢れました。患者さん達とも多くの出会いがあり、思い出があります。父親のような人達も、兄弟姉妹のような人達も、友達のような人達もいました。この地で得た全ての人間関係は私の大きな宝です。今後東京病院がますます1つにまとまり、職員一人ひとり、患者さん一人ひとりを大切に、仲良く励んでいけば東京病院が発展していくことは間違いありません。私は外から楽しみに眺めさせて頂きます。お世話になり、有難うございました。

『退職のご挨拶』

呼吸器内科医長 豊田恵美子

定年を迎えました。自分の事と思えないけれど医師になってから40年、国立療養所にお世話になってなんと35年が経過し、この間私を医師に育ててくれた患者さん達、先輩方、スタッフの仲間たちに心から御礼申し上げます。光陰矢の如しとはいうものの時間は残酷なほどに速く、周りをみている間に世の中も医学もプレイクスルーしながら目まぐるしいほどに進んで変わっていきます。研修医になって、最初のオーベンだった藤村欣吾先生からの第一声は「なんだ女か」で、なぜか「すみません」と答えたが、先生が予言したように医師として人として最も大きな影響をうけている。患者さんが亡くなったといったら泣き、私の患者さんを助けてと学内を走りまわった研修医時代、野戦病院だった津山時代、周りが天才？ばかりだった中野時代、他科と協働することで何倍もの力量を発揮できることを知った国立国際医療センター時代、そして社会の喧噪から一歩引いたところでクールに専門性を追求している東京病院で最後の時期を過ごすことが出来て本当に恵まれていたと思います。皆様本当にありがとうございました。

私がいつも思うのは「患者さんは病気なのだから親切にしよう」と医局の上司であった山木戸道朗先生が言われた言葉です。

『あれから40年』

1病棟師長 佐々木美津

遠い昔の学生時代をこの清瀬で過ごし、看護師として、国立東京第一病院(国立国際医療研究センター)で30年余り働きました。新人の頃、緊張しながら先輩の後を一生懸命追い、見様見まねで仕事を学んだように思います。その後、結婚、出産、子育てなど、仕事を辞めようと思う機会は何度かありました。院内にある無認可保育園の運営資金作りのため大がかりなバザーがあり、夜遅くまで保母さんやお母さん方と準備をしたり、子供が病気の時は、先輩や同僚とお互いに協力しながら、極力仕事に影響の無いよう調整しあいました。辛いことも沢山ありましたが、友人や家族のサポートがあり、辞めずに今があるのだと思います。その後、第二の故郷となる清瀬の東京病院に転勤となりました。当時、病院機能評価受審の為の準備が始まり、良質な医療に向け職員が力をあわせ取り組みました。

最後の担当病棟は、緩和ケア病棟でした。人生の最期となる時期を患者・家族の皆さんと一緒に泣いたり笑ったり、みんなで胸が苦しくなる程悩んだり深い学びとなりました。これまで、たくさんの方々に出会い、支えられ、看護師長という立場で大過なく卒業できる事を大変嬉しく思います。

最後に皆様のご健康ご活躍、そして東京病院の益々のご発展をお祈りし、コブシの花咲く時に卒業したいと思えます。本当に有難うございました。

『退職のご挨拶』

診療放射線技師長 立道信宏

平成22年4月1日から、前任地である村山医療センターより東京病院へ異動となり、まる3年、各職場の皆様と共に東京病院の発展のため全力で歩んできました。当科全スタッフ協力の下、当院が直面している喫緊の問題(電子カルテ運用、リスタートプランの目標達成など)に放射線科として微力ですが寄与できたものと思っています。4月1日からは、新しい技師長の下、更なる歩みを続けて行くものと思いますが、引き続き放射線科の業務に対し、ご理解・ご支援を頂きますようお願い申し上げます。長いようで短い3年間でしたが、関係部署の皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。

診療内容 病床数560床

- | | | | |
|---|----------------------------------|---|---|
| ○呼吸器センター | ○喘息・アレルギーセンター | ○消化器センター | ○総合診療センター |
| ●呼吸器内科
●呼吸器外科
●リハビリテーション科
●放射線科
●緩和ケア内科 | ●アレルギー科
●眼科
●耳鼻咽喉科
●皮膚科 | ●消化器内科
●消化器外科
●リハビリテーション科
●放射線科
●緩和ケア内科 | ●総合内科
●循環器内科
●神経内科
●麻酔科
●臨床検査科 |
| | | | ●整形外科
●リハビリテーション科
●泌尿器科
●放射線科
●歯科 |

肺ドック・消化器ドック始めました。

- | | |
|--|--|
| ○肺ドック
月～金 9:00～10:00 (1日2名)
料 金：26,250円 (税込) | ○消化器ドック
月～金 9:00～12:00 (1日2名)
料 金：50,400円 (税込) |
|--|--|
- ～お申込み方法・お問合わせ先～
予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日8:30～15:30

受付時間：初診 8:30～14:00 (消化器内科の月、金は12:00までの受付) 予約センター 042-491-2181 (受付時間平日8:30～15:00まで)
再診 午前の診療 8:00～11:00 午後の診療 12:30～14:00

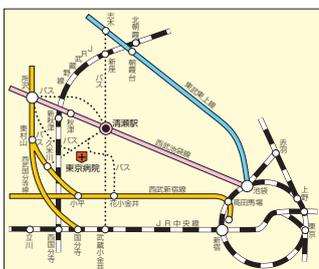
専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
禁煙 (予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)	
呼吸器 関係 外来	肺がんセカンド オピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,500円]
喀血 (予約制)	火(午後2時～)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を喀血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。	
間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。	
非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。	
いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など (要神経内科外来受診)。	
肝 胆 脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合 (医療機関)

外来診療の予約 : 診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)
CT・MRI検査の申し込み: 医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

交通案内



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。
(駐車場265台)
30分以内 無料
31分～4時間 1000円
以後1時間毎 1000円
(20時15分～7時 1時間毎3000円))

WEB検索

東京病院

検索

